

ディーゼルにLPG混合

だるまエナジー 燃焼システム開発

一つの燃料で走行するエンジンには「モノフューエル」、二つの燃料を交互に使うのは「バイフューエル」、二つの燃料を混合するのは「デュアルフューエル」

「LPGガスや天然ガス車両のシステムの開発などを行う「だるまエナジー」(港区、古田洋二社長)はこのほど、通常のディーゼルエンジンを使用し、ディーゼル燃料にLPGガスを混合して燃焼させるシステムを開発し実用化に成功した。

埼玉県の城東自動車工場との協力で検証を続け、三菱ふそう小型トラック「キヤンター」に46㍓のLPGガスタンクを取りつける改造に成功。先月、中小トラック業者を集めたセミナーで技術発表し販売を始めた。ディーゼルとLPGガスのデュアルエンジンは欧州などでは実用化され普及。同社は日本国内での実用化に向け資源エネルギー庁の補助金事業として取り組んでいる。ディーゼルにLPGガスを混ぜた場合、出力はディーゼルより大きくなる。

このためメーカー推奨の出力に調整。パワー向上とLPGガス価格の安さで燃費が格段に向上する。LPGガスタンクの追加で1充てん当たり走行距離も伸びる。

軽油価格高騰の一方、将来のシェールガスの日本流入を踏まえ、ディーゼル+LPGのデュアルフューエルは今後、注目の燃費削減技術だ。同社では来年度には大型トラックでの実用化も行き、大型バスへの技術転用も視野に入れている。

問い合わせは同社 ☎03(6435)8920。

(誤)

- * 埼玉県の城東自動車工場
- * 技術発表し販売を始めた。

(正)

- ⇒ 東京都墨田区 の城東自動車工場
- ⇒ 技術発表はしたが、まだ発売は開始していません。